

加藤のコラム

第11号（2016年4月）



平成28年度がスタートしました。

今年度もゆいにいられることになり、「ほんのちょっとだけでもたまには役に立ちたい」という、昨年度同様の情けない目標を立てておりますが、一生懸命頑張りたいと思います。

さて、年度始めのコラムは所信表明を兼ねて発信させていただきます。世界に発信してしまうので、ビビっています。

◎「最前線と最高峰をめざして」がんばります

ゆいは「地域に戻る」という使命を持っています。しかし、「地域に戻る」ための環境を整えていくには乗り越えなくてはならないことも多々あります。その中で、今年度はGHの体験利用を少しでも軌道に乗せていきたいと思っています。スタッフ配置がどこまでできるかによりますが、その検討と試行錯誤はしてみます。そして「きれいなゆい」を合言葉に、修繕や整備、美化、そして健康や運動に関する環境を整えていこうと思っています。また、大きな声では言えませんが、「こっそりプロジェクト」を今年も行う予定です。「こっそりプロジェクトって何だ？」と気になっているかもしれませんが、これ以上は書けません…。「こっそり」なのでこっそりやりたいと思います。

○「支援力を上げる」ようにがんばります

ゆいでは、チーム支援のテーマを決めて、チームカアップに取り組んできました。今年はその取り組みをチーム間でより交流できるような仕組みを考えています。また、内部研修であるゆい塾も年間4回計画しています。そして、今年度は「できるだけシンプルに・できるだけ利便性よく・できるだけ大幅改訂せず」をコンセプトに、個別支援計画の見直しに着手します。

○「組織力を高める」ようにがんばります

短時間でもケースカンファをしながら共通意識を高める場を設ける工夫をします。チームリーダーやサブリーダーがお互いの取り組みを学び刺激しあえる場も設定します。もちろん、余暇企画で盛り上がる場もつくります。ゆいで仕事ができる喜びをみんなで味わいたいと思います。

○「人間力を磨く」ようにがんばります

アートでも作業でも、どうやったら利用者さんをプロデュースできるのかを具体的に実行に移していきます。人権や社会人としてのマナーアップについては、ある期間、具体的なテーマを絞り込みながら目標を達成していけるようにします。ボクらの好感度を上げることが利用者さんの好感度を上げることに役立つかもしれないからです。

みなさま、今年度もゆいをどうぞよろしく願いいたします。

さて、4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。自閉症という名前を事業所名に入れさせていただいているので、ちょっとだけこのお話をさせていただいて、今回のコラムをとじたいと思います。

ちなみに、4月2日はこんな日です。

「子どもの本の日」 アンデルセン氏の誕生日だから。

「週刊誌の日」 週刊朝日とサンデー毎日の創刊日だから。

「図書館開設記念日」 日本初の官立公共図書館・東京書籍館が開設されたから。

「歯列矯正の日」 4（し）0（れ）2（つー）で「しれつ」の語呂合せになるから。

また、この日が誕生日の人たちには、先ほど紹介したアンデルセン氏、フレンチの達人坂井宏行氏、伝説のロッカー忌野清志郎氏、ジャイアンツのピッチャーだった高橋尚成氏、カンニング竹山隆範氏らがいます。

そしてもうひとつ、4月2日は「世界自閉症啓発デー」です。これが本題。

どうして、4月2日が「世界自閉症啓発デー」になったかということ、平成19年12月18日に開催された国連総会で、カタール王国王妃の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」

（World Autism Awareness Day）とすることが決議されたからです。なぜ4月2日としたのかは…、不明です。知りたくてとても気になるけれど不明です。日本だと年度替わりの時期なので世の中がバタバタしていますが、世界的には準備にもじっくり取り組みやすい時期なのではないでしょうか。とりあえずそう考えることにします。ちなみにカタールはサウジアラビアの右側にちょこんとある国で、首都はドーハ。サッカー好きの人は、あの「ドーハの悲劇」を思い出されることでしょう。

その決議をきっかけとして、全世界の人々に自閉症を理解してもらい取り組みが行われており、日本では、4月2日から8日を発達障がい啓発週間として、シンポジウムの開催やブルーライトアップ等の活動を行っています。この青い光で彩る取り組みは「ライト・イット・アップ・ブルー」（LIUB）キャンペーンと呼ばれていて、世界中の名だたる建築物が青くライトアップされます。なぜ青なのかは…、よくわかりませんが、青色には「癒し」や「希望」という意味があるそうで、たぶんそうした意味から青がシンボルカラーとして選ばれたのでしょうか。4月2日は、どこかに青い物を身に付けるのが粋です。

逆に言えば、啓発デーや啓発週間があるということは、多くの人々の日々の生活の中ではあまり意識されていないということでもあります。つまりはもっと啓発してもいいということ。とすれば、カタールの王妃さまにもう一度提案してもらいましょうか。「毎月2日を自閉症啓発デーにして、とにかく青くしちゃう日にする」って。カタールの王妃さまと知り合いの方がいたらダメ元で頼んでみてください。

ちなみに、加藤の愛車（ポンコツですが）はスカイブルーでございます。毎日地道に啓発デーしています。